より美しく生きるライフスタイルを顧客重視の安定経営が理想を実現

株式会社
ラティアクリエイツ

オーナー兼代表取締役 CEO
山田（やまだ）　博之（ひろゆき）

Profile
実業家、タレント、アーティスト、モデル、DJ、プロデューサー、MCと７つの顔を持つ山田博之／Hirokiとしてビジネスとエンタテインメント、芸術と芸能とフレキシブルに活躍。19歳で渡米した後パリへ。帰国後は多くのショーを手掛け話題を集めた。現在、全く新しい価値観を自由に創造し、「本当の美しさ」を追求、実現し続ける。

お客様が本当に喜ぶ製品を開発

1992年の創業以来、ラティアグループは「美・健康・祝・食」を通じ、“より美しく生きるライフスタイルの提案”をしてきました。

ラティアに関わるすべての人が逆境に負けない、強く美しい人になってもらいたい。この理想を掲げるため、当社は安定した経営状態を維持し続けてきました。結果、大手調査会社から高評価を獲得。これは常にお客様が本当に喜ぶ製品を開発しているからだと思います。

例えば当社が開発した&Ratiaシリーズのサプリメントやコスメなどの美容製品は、アトピーなど体質による肌の悩みを抱える女性にも対応しています。企業ブランドのイメージアップのための広告費よりも、製品開発に投資しているのもお客様のことを考えてのこと。お陰様で、&Ratiaのご愛用者は累計数百万人を突破しています。

また、10年先を見据えたビジネス展開をしているのも当社の強み。19歳で起業した当初は毛皮・ジュエリーの企画・製造・販売と、今とは全く違う事業を展開していました。扱う商材はさまざまですが、すべてを一貫して行い、どの事業もその時代にあったマーケティングを基に繁栄させてきました。

海外流通に注力国内ではTV通販を開拓

現在、力を入れているのは「Made in Japan商品の輸出コーディネート」。海外とのつながりは相当な人間関係を作らないと、リスクは高くなります。そこで当社では直に海外流通を行わず、海外に強いネットワークを持つ商社を窓口に。だからこそ、日本に来られないからMade in Japan商品を欲している状況を客観的かつ的確に把握。コロナ禍以前よりも発注のサイクルとロットを増やすことができました。

一方、国内事業で力を入れているのは「美と健康以外の商品開発と流通」。特に流通は山田邦子さん、彦摩呂さんが司会を務めるTVショッピング番組の老舗「痛快！買い物ランド ショップ島」での通販が好調に推移しています。

ご提供したのは、細胞が活性化し、新しく生まれ変わる効能から数年前より流行り始めたヒト幹細胞美容液。3万円／30mlと高価ですが、当社は純度100%を9,800円で販売。さらに「お客様が毎月使い続けられる価格にした定期購入」は大反響中です。

それほどに売れている状況を受け、今後は日本全国、BS・CSから地上波までオンエアできないか。マーケティングを行いながら、次のメディア展開を検討中です。

直営店のビジネスモデルで幅広い世代をターゲットに

これまで当社は宣伝広告費をほとんどかけず、Instagramのフォロワーが135万人になるほど、SNSに注力してきました。Instagramで施術モニターを募集、独自の美容施術は1回体験すれば効果はすぐに実感出来ます。だから自信を持って、後から営業するのではなく、最初の段階で「体験してよかったら契約してください」と勧めています。

またお客様とそのご友人をご招待したインテンションパーティーを開催。当社スタッフがコミュニケーションを取りながら、ビューティ講座やスキンケア勉強会など、毎回メニューを替えながらお客様をお誘いしています。

さらに年に一度、当社商品で美しくなったお客様を表彰するコンテスト形式のイベントを企画。コロナ禍は500人規模でしたが、今後、各エリアでの展開も視野に入れています。これが当社直営店のビジネスモデルとなります。

ライフスタイルの変化は早まる一方ですが、常にお客様視点で次に何が必要かを察知し、それをいち早く商品・サービスとして実現化し提供する。そのために自ら動いて先入観や既成概念に捉われず新しい発想・価値観を生み出していきます。

そんな当社をご評価いただくM&Aのオファーも後を絶ちません。個人も法人も資産は潤沢にあるので急がず、一緒に組む企業のビジネスが面白そうであれば検討したいと思っています。

企業名：株式会社ラティアクリエイツ
TSR 企業コード：43-018309-7
事業内容：化粧品・健康食品・補整下着・美容機械の研究開発製造メーカー
設立：1992 年 7 月
住所：〒 150-0041
東京都渋谷区神南 1-20-17　BC 神南 PROPERTY ビル 5F
TEL：03-4577-9540
WEB：http://www.ratia.co.jp/

TSRの眼　財務基盤の構築と共に、先を見据えた展開